

医療依存度の高い方も宿泊可能な短期入所生活介護サービスを

行っている「コミュニティプレイス生きいき」を見学

2月9日、認知症を地域で支えるまちづくり下関ネットワーク委員会主催の施設見学に参加しました。

防府市にある「(有)オールライフサポート・生きいき」では、周防国府ケアプランセンターと原田訪問看護センターにコミュニティプレイス生きいきが運営されています。

見学した「コミュニティプレイス生きいき」にとっても共鳴しました。短期入所(ショートステイ)施設と国土交通省指定短期入所協力施設の指定も受けています。赤ちゃんから認知症の人、医療行為もいい、どんな病気もいい、看取りもいいと言う施設なのです。

特色は(1) 24時間看護師が常駐しています。

(2) 0歳～天寿全うまでの方の医療・介護のお手伝いをします。

(3) 看取りケアをしています。

(4) 入院後の一時入居で生活リハビリをして家に帰るお手伝いをします。

(5) 人工呼吸器をはじめ、どんな医療があっても泊まります。

(6) 栄養士や調理師がタイムリーにとっても美味しい食事を考え、治療食・嚥下食も作っています。

(7) 交通事故後遺症の方(重症、軽傷、脊損、脳損にかかわらず)も受け入れます。

サービスの内容も細かい気づかいがされています。こういう施設は他にないそうです。

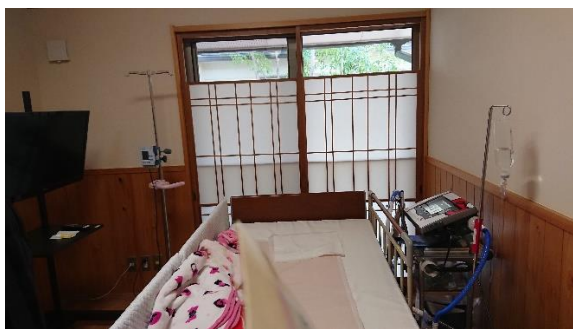
料金が高い施設を利用出来ない人が増える現状を考え、在宅介護を選ぶ人が増えると予想されます。その人達にとって不可欠な施設だと感じました。施設長の原田さんが「在宅介護が増える中、わざわざ施設を建てなくても特別養護老人ホームに併設しているショートステイを活用したらどうでしょうか？そして訪問看護を経験している看護師さんがおられるといいですね。」と話されました。ぜひ考えて欲しいと思います。

原田さんの想いが形になった施設でした。素晴らしいと思いました。

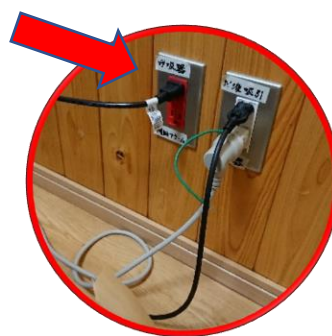


入った瞬間
「広い！」

施設全体、施設長の
想いがたくさん
詰まっています。



窓は雪見障子風。外の緑が見えます



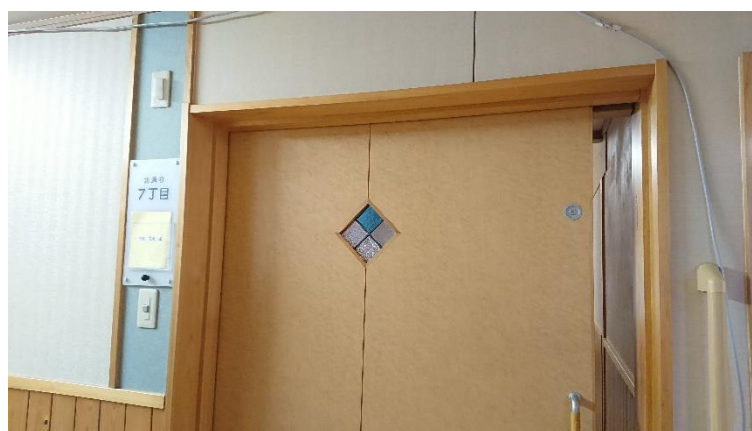
自家発電用
赤いコンセントは



トイレが広々しています。上部は壁がありません。空気清浄機まで設置

施設全体、暖かさを感じる
木材をたくさん使用されて
います。壁も。天井も。

お部屋番号は7丁目とネー
ミング
ドアのステンドグラスが目につ
きます



浴室までコンセント引っ張れます
医療機械つけてシャワーOK

